事務事業名	2	1273	保係	建衛生	事務費										
担当組織	市民医療センター						総務	課			担当	á	<u>4/1</u>	終務・医事担当	
組織コード	R2 R1	30 30	01 01	00	会計·款·項·目·	大事業·中事業	R2 R1	01 01	04 04	01 01	01 01	02 02	01 01	記入日	令和 2年 6月22日

		総合	総合振興計画上の位置づけ										
基本目標	02	誰もが健康でいきいきと	生活でき	るまち				● 対象					
分野	01	医療											
施策	15	地域医療体制の整備	〇 対象外										
事業期間	平成	18年度 ~ 令和2年度											
根拠法令 通 達 等					関連計画 施政方針								
事業区分	0	法定受託事務	〇自	治事務のうち義	務的なもの	•	自治事務のうち	任意のもの					
対象													
事業目的	※予	算編成用シート(指標等差	卡設定)										
事業内容	※予	算編成用シート(指標等ヲ	未設定)										
実施主体	■市	iによる単独直営 []委託	(□3セク・財団	□企業	□市民·NP0)	□協働·協力	()					

Ė		111/K	人和二左曲		人和人左曲	人红	10 左曲	人们	4 左曲	人和日左曲
			令和元年度		令和2年度		13年度		4年度	令和5年度
			執行額(千円)		予算額 (千円)		(千円)	計画額		計画額(千円)
			保健衛生事務	5	保健衛生事務	保健	衛生事務	保健律	生事務	保健衛生事務
		事業内容								
事		事 業 費	6	694	2, 206		1, 262		1, 177	1, 177
業		国庫支出金		0	0		0		0	0
事業の予算	╽╋╏	県支出金		0	0		0		0	0
算	源	起		0	0		0		0	0
実	財	その他		0	0		0		0	0
実績	"	一般財源	(694	2, 206		1, 262		1, 177	1, 177
		人 件 費		0	0		0		0	0
	投入		0	ナー	0人		0人		0人	0人
	人員			人	0人		0人		0人	0人
		業費+人件費		694	2, 206		1, 262		1, 177	1, 177
				34 /L		, <u></u>	H30E	標	R 1目標	R2目標
		指標名		単位	説明・算定	工	H 3 0 実		R 1 実績	R2実績
lΒ	活動									
標	1									_
目標達成状況	活動									_
派	成果	1								
況	1									_
	成果	Į.								
	2									_
		一:未設定								
目相	票達成	大 <判断理由>								
4	犬況									
	分析									
1 0	ולף נכי									

3.評価結果				
		評価結果		施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	29年度	30年度	1 年度	一:未設定
施策への貢献度	_	_	-	<判断理由>
		評価結果		事業費・人件費の水準は適正か。
	29年度	30年度	1 年度	一:未設定
経費水準				<判断理由>
	_	_	_	
		評価結果		事業手法は適正か。
	29年度	3 0 年度	1 年度	一:未設定
事業手法				<判断理由>
	_	_	_	
		評価結果		受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	3 0 年度	1 年度	一:未設定
受益・負担の公平性				<判断理由>
	_	_	_	
4. 令和元年度中に	実施した	た見直し	 内容	
, = , , , , ,				

1- 1BV - 1 12C 1 1	- 久治 5 / 2 / 2 / 3 / 1
見直し内容	
見直しの効果	

5	企 继	M	+	<i>全</i> ‡

	〇 1 現状で継続	○2拡大して継続	○3縮小して継続	〇 4 他事業と統合	○ 5休止
	○ 6その他見直し	〇 令和 3 年度で終了	〇 令和 2 年度で終了	〇令和元年度で終了	
	<判断理由>				
事業の方向性 事業の方向性					
 今後の取組方針					

ſ	事務事業名	2	21588 地域医療体制推進事業												
I	担当組織		Ħ	5民医	寮セン	ター		総務課				担当	担当総務・医事担当		
I	組織コード	R2	30	01	00	会計·款·項·目·大事業·中事業	R2	01	04	01	01	03	01	記入日	令和 2年 6月22日
ı	小山小以 一 「	R1	30	01	00	<u> </u>	「 ^{事業} R1 01 04 01 01 03 01 配入口		此人口	741 24 07220					

	総合振興計画上の位置づけ											
基本目標	02	誰もが健康でいきいきと生活できるまち			● 対象							
分野	01	医療										
施策	15	地域医療体制の整備	〇 対象外									
事業期間	昭和	昭和58年度 ~ 令和2年度										
根拠法令 通 達 等			十画									
事業区分	0	○ 法定受託事務 ● 自治事務のうち義務的なもの ○ 自治事務のうち任意のもの										
対象	救急	医療を実施する医療機関、市民										
事業目的	地域	医療の充実										
事業内容	地域	地域医療の充実のため、救急医療を実施する医療機関の支援、災害時医療体制の整備										
実施主体	□∄	「による単独直営 □委託 (□3th・財団	□企業 [」市民·NPO) ■協働·協力	(医療機関)							

2. 実施結果

			令和元年度		令和2年度		13年度		和4年度	令和5年度
			執行額(千円))	予算額(千円)	計画額	〔(千円)	計画	ī額(千円)	計画額(千円)
			地域医療体制	ij	救急医療体制	救急	医療体制	救	急医療体制	救急医療体制
		事 業 内 容	推進事業		の確保、災害	の確保、災害		の	確保、災害	の確保、災害
		7 7 1 1	一次・二次素	t l	時医療体制の	時医療体制の		時医療体制の		時医療体制の
			急医療事業		整備	整備		整備		整備
事業		事 業 費	82,	941	85, 176		84, 576		85, 176	85, 176
(美の		国庫支出金		0	0		0		0	0
の予算	財源	県支出金	12,	855	14, 496		14, 496		14, 496	14, 496
算・	源[起債		0	0		0		0	0
実績	内訳	その他	18,	914	19, 146		19, 146		19, 146	19, 146
績		一般財源	51,	172	51, 534		50, 934		51, 534	51, 534
		人 件 費	6, 16	3. 2	2 6, 163. 2		6, 163. 2	6, 163. 2		6, 163. 2
	投力	常勤職員	0. 9	人	0.9人		0.9人		0.9人	0.9人
	人員	非常勤職員	0	人	0人		0人		0人	0人
	具	事業費+人件費	89,	104	91, 339		90, 739		91, 339	91, 339
		指標名		単位	説明・算定	' =1'	H30E	標	R 1目標	R 2 目標
		וי אוים ו		+- 1-2			H30集	[績	R 1 実績	R2実績
н	活動	→ 小児救急医療(一	·次)体制運営費	円			16, 000	, 000	16, 000, 000	21, 000, 000
屋	(1	││補助金		1,			16, 000	, 000	16, 000, 000	_
達	活動	力 地域医療体制強化	:費補助金	円			5, 000	, 000	5, 000, 000	0
目標達成状	(2			1,			5, 000	, 000	5, 000, 000	_
状	成身	 小児救急医療(-	·次救急)患者数	人	支援対象病院の小	児救急		600	700	500
況	(1				患者			761	557	_
	成身	地域医療体制強化	:事業患者数	1	支援対象病院の外	来患者	19	, 000	19, 000	17, 000
	2			人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人				, 693	17, 695	_
		B : 活動・成果の	いずれかを達成し	った。						
日本	票達月	《判断理由》								

日標達成 状況 の分析

救急医療を実施する医療機関を支援し、市民が安心して医療を受けられる体制を確保することができた。

3.評価結果

A. W. 1,1111		評価結果		施策の目標達成に向けて貢献しているか。					
	29年度		1 年度	A:施策の目標達成に大いに貢献している。					
施策への貢献度	A	A	A	<判断理由> 救急医療を実施する医療機関を支援し、切れ目のない救急医療体制を確保することは、施策の目標達成に大いに貢献している。					
		評価結果		事業費・人件費の水準は適正か。					
	29年度	30年度	1 年度	B:経費は適正な範囲である。					
経費水準	В	В	В	<判断理由> 救急医療体制の運営費の一部を補助するものであり、適正な経費である。					
		評価結果		事業手法は適正か。					
	29年度 30年度 1年度			B:事業手法は適正な内容である。					
事業手法	В	В	В	<判断理由> 救急医療を実施する医療機関に対し、市が補助金を交付して支援するものであり、事業手法は適正である。					
		評価結果		受益の公平性と負担の適正化は図られているか。					
	29年度	30年度	1 年度	B:受益・負担は適正な範囲である。					
受益・負担の公平性	В	В	В	<判断理由> 市民の誰もが休日や夜間に安心して受診できる体制を確保するための経費であり、受益と負担は公平で適正である。					

4	令和元年月	ま中に3	官施した	見直し	内容
T .	リックロフレーニン	2 1 1 2 7		ルピし	r 10

見直し内容	
見直しの効果	

	● 1現状で継続	○ 2拡大して継続	○ 3 縮小して継続	○ 4他事業と統合	○ 5休止
	○ 6 その他見直し	〇 令和 3 年度で終了	○令和2年度で終了	〇令和元年度で終了	
事業の方向性	<判断理由> 市民がいつでも安川 て行っていく。	心して医療を受けられる	5よう、救急医療を実施	恵する医療機関を支援す	「るため、事業を継続し
今後の取組方針	引き続き取り組む。	民講座の開催を通じて、 関として、救護所として			Eしい対処方法の普及に 5等の備蓄を行う。

事務事業名	212	277 市民医療センター特別会計繰出金												
担当組織	市民医療センター					総務課					担当	担当総務・医事担当		
組織コード		30 30	01	00	会計·款·項·目·大事業·中事業	R2	01 01	04 04	01 01	05 05	01 01	01	記入日	令和 2年 6月22日

		i	総合振興計	画上の位置づ	け			実施計画候補
基本目標	02	誰もが健康でいきい	きと生活でき	きるまち				〇 対象
分野	01	医療						
施策	15	地域医療体制の整備						● 対象外
事業期間	平成	18年度 ~ 令和2年	丰度					
根拠法令 通 達 等					関連計画 施政方針			
事業区分	0	法定受託事務	O 自	治事務のうち義	務的なもの	•	自治事務のうち	任意のもの
対象			,					
事業目的	※予	算編成用シート(指植	票等未設定)					
事業内容	※予	算編成用シート(指権	票等未設定)					
実施主体	■ 市	iによる単独直営	□委託	(□3セク・財団	□企業	□市民·NP0)	□協働・協力	()

		<u>u</u>							
			令和元年度		令和2年度		13年度	令和4年度	令和5年度
			執行額(千円))	予算額 (千円)	計画額	(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
			市民医療セン	/	市民医療セン	市民	医療セン	市民医療セン	市民医療セン
		事 業 内 容	ター特別会計	 	ター特別会計	ター	特別会計	ター特別会計	ター特別会計
		7 / 1 / 1	の資金不足を	-	の資金不足を	の資金不足を		の資金不足を	の資金不足を
			補う資金支出	1	補う資金支出	補う	資金支出	補う資金支出	補う資金支出
事		事業費	360, (410, 263		168, 251	410, 263	410, 263
業		国庫支出金		0	0		0	0	0
事業の予算	財	県支出金		0	0		0	0	0
算	財温	起債		0	0		0	0	0
実績	内一訳	その他		0	0		0	0	0
 績		一般財源	360, (000	410, 263		168, 251	410, 263	410, 263
		人 件 費		0	0		0	0	0
	投入	常勤職員	0	人	0人		0人	0人	0人
	人員	非常勤職員	0	人	0人		0人	0人	0人
	事	業費+人件費	360, (000	410, 263		168, 251	410, 263	410, 263
		指標名		単位	説明・算定	式	H30目 H30実		
見	活動 ①								_
標	活動								
達 成	(2)								_
目標達成状況	成果								
沈	① 成果								
	· 及未 ②								_
		一:未設定							
目标	票達成	<判断理由>							
k	犬況								
(0)	分析								

3.評価結果				
		評価結果		施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	29年度	3 0 年度	1 年度	一:未設定
施策への貢献度	_	_	I	<判断理由>
		評価結果		事業費・人件費の水準は適正か。
	29年度	30年度	1 年度	一:未設定
経費水準	_	_	_	<判断理由>
		 評価結果		事業手法は適正か。
	29年度	30年度	1 年度	一: 未設定
+ * ~ \ +		0 0 1/2	. 1/2	<判断理由>
事業手法	_	_	_	
		評価結果		受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	1 年度	一:未設定
受益・負担の公平性	-	_	-	<判断理由>
4. 令和元年度中に	実施した	た見直し	内容	
7-1112 - 7 125 7 1			- -	

見直し内容	
見直しの効果	

5.	一今後	M	 소나
υ.	フ 1友	כט	刀亚I

	○ 1現状で継続	○2拡大して継続	○ 3縮小して継続	○ 4他事業と統合	○ 5 休止
	○6その他見直し	○令和3年度で終了	〇 令和 2 年度で終了	〇令和元年度で終了	
	<判断理由>				
事業の方向性 事業の方向性					
 今後の取組方針					

事務事業名	21343 一般管理費													
担当組織	市民医療センター						総務	課			担当	担当総務・医事担当		
組織コード	R2 R1	30 30	01 01	00	会計·款·項·目·大事業·中事業	事業 R2 06 01 R1 06 01				01 01	02 02	01	記入日	令和 2年 6月22日

		総合	振興計i	画上の位置づ	け			実施計画候補
基本目標	02	誰もが健康でいきいきと		〇 対象				
分野	01	医療						
施策	15	地域医療体制の整備						● 対象外
事業期間	平成	18年度 ~ 令和2年度						
根拠法令 通 達 等					関連計画 施政方針			
事業区分	0	法定受託事務	〇自	治事務のうち義	務的なもの	•	自治事務のうち	任意のもの
対象								
事業目的	※予	算編成用シート(指標等差	卡設定)					
事業内容	※予	算編成用シート(指標等え	未設定)					
実施主体	■市	iによる単独直営 []委託	(□3セク・財団	□企業	□市民·NP0)	□協働·協力	()

			令和元年度		令和2年度 予算額(千円)		3年度	令和4年度	令和5年度
	事業内容			一般管理事務 一般管理事務 運営委員会関 運営委員会関			〔(千円) 管理事務 委員会関 務	計画額(千円) 一般管理事務 運営委員会関 係事務	計画額(千円) 一般管理事務 運営委員会関 係事務
事		事業費	4,	322	19, 093		17, 258	6, 623	6, 623
(美の		国庫支出金		0	0		0	0	0
事業の予算	財	県支出金		0	0		0	0	0
	財 _ 源 _ 内 _ 訳	起 債		0	0		0	0	0
実績	訳 _	その他	4, 3	322	6, 627		6, 623	6, 623	6, 623
傾		一般財源		0	12, 466		10, 635	0	0
		人 件 費	3, 76		3, 766. 4		3, 766. 4	3, 766. 4	3, 766. 4
	投入	常勤職員	0. 55		0. 55 人		0.55人	0. 55 人	0. 55 人
	人員	非常勤職員		ᄉ	0人		0人	0人	0人
	事	業費+人件費	8,	088	22, 859		21, 024	10, 389	10, 389
		指標名		単位	説明・算定	式	H30目 H30算		
目煙	活動 ①								_
目標達成状況	活動 ②								_
火	成果								
兀	成果								
	2								_
		一:未設定							
目相	票達成	<判断理由>							
4	犬況								
σ,	分析								

3.評価結果				
		評価結果		施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	29年度	30年度	1 年度	一:未設定
施策への貢献度	I	_	I	<判断理由>
		評価結果		事業費・人件費の水準は適正か。
	29年度	30年度	1 年度	一:未設定
経費水準				<判断理由>
	_	_	_	
		評価結果		事業手法は適正か。
	29年度	30年度	1 年度	一:未設定
事業手法				<判断理由>
	_	_	_	
		評価結果		受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	1 年度	一:未設定
受益・負担の公平性				<判断理由>
	_	_	_	
4. 令和元年度中に	実施した	た見直し	 内容	
,				

マ・ リカロノレー・スイント	- 大池 ひた光色 ひりも
見直し内容	
見直しの効果	

|--|

	○ 1 現状で継続	○ 2拡大して継続	○ 3縮小して継続	○ 4他事業と統合	○ 5休止
	○ 6 その他見直し	○令和3年度で終了	〇 令和 2 年度で終了	〇令和元年度で終了	
	<判断理由>				
 事業の方向性					
 今後の取組方針					
7 12 07 12 11 11 11 11 11					

事務事業名	2	21345 市民医療センター管理費													
担当組織		Ħ	5民医	寮セン	ター		総務	課			担当	i	9/ / 小c	務・医事担当	
組織コード	R2	30	01	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R2	06	01	01	01	03	01	記入日	令和 2年 6月22日	
が上が コート	R1 30		01	00		R1	06	01	01	01	03	01	記入口	TM 24 07220	

		総合振興計画上の位置づ	うけ			実施計画候補
基本目標	02	誰もが健康でいきいきと生活できるまち		〇 対象		
分野	01	医療				
施策	15	地域医療体制の整備				● 対象外
事業期間	平成	18年度 ~ 令和2年度				
根拠法令 通 達 等	医療	法	関連計画 施政方針			
事業区分	0	法定受託事務 ○ 自治事務のうち義	務的なもの	•	自治事務のうち	任意のもの
対象	外来	(一般診療、健(検)診、予防接種等受診者)及	び入院患者			
事業目的	施設	の適正な管理を行い、外来受診者及び入院患者等	、利用者にとっ	て安全で快適な	お診療環境を維持	寺する。
事業内容		社会が進む中、社会的セーフティネットの機能拡 制を整備する。	充を図りつつ、	公的医療機関と	として、市民が	安心して医療を受けられ
実施主体	□₫	うによる単独直営 ■委託 (□3セウ・財団	■企業]市民·NPO)	□ 協働·協力	()

2. 実施結果

			令和元年度		令和2年度		13年度	수	和4年度	令和5年度
			執行額(千円)	予算額(千円)		〔(千円)	計画	1額(千円)	計画額(千円)
			市民医療セン		市民医療セン	l	医療セン		「民医療セン	市民医療セン
	事業内容		ター・老健の		ター・老健の	ター・老健の		ター・老健の		ター・老健の
			施設維持管理		施設維持管理		維持管理		設維持管理	施設維持管理
			に関する事業	ŧ	に関する事業	に関	する事業	15	関する事業	に関する事業
事業		事 業 費	79,	988	92, 569		90, 647		92, 569	92, 569
美 の		国庫支出金		0	0		0		0	0
の予算	財源	県支出金		0	0		0		0	0
算.	源「	起 債		0	0		0		0	0
実績	内訳	その他	79,	988	92, 569	92, 569		92, 569		92, 569
 		一般財源		0	0		-1, 922		0	0
		人 件 費	3, 081. 6		3, 081. 6		3, 081. 6	3, 081. 6		3, 081. 6
	投入	常勤職員	0. 45	人	0.45人		0.45人		0.45人	0. 45 人
	人員	非常勤職員	常勤職員 0		人 0人		0人		0人	0人
	事		83,	070	95, 651		93, 729	95, 651		95, 651
		 指標名		単位	説明・算定式		H30E	標	R 1目標	R2目標
				+12			H30実			R 2 実績
lβ	活動		§件数	件	毎年度5件以下を	目標と		5		5 5
標	1				する			6	1	2 –
目標達成状	活動 ② 成果 事故発生件数									
八					施設・設備管理の不備に			0		0 0
況				件	よる事故発生件数			0		0 -
	成果									
	2									_
		B · 活動 · 成里 <i>α</i>)いずれかを達成し	.t		·		·		

B:活動・成果のいずれかを達成した。

<判断理由>

目標達成 状況

施設・設備の不具合が多かったが、修繕を実施することにより、事故が発生することはなかった。

状況 の分析

3. 評価結果

		評価結果		施策の目標達成に向けて貢献しているか。				
	29年度	29年度 30年度 1年度 B:施策の目標達成に貢献している。						
施策への貢献度	В	В	В	<判断理由> 施設を長期にわたり安全に使用するためには、適切な維持管理が不可欠であり、施策の目標達成に貢献している。				
		評価結果		事業費・人件費の水準は適正か。				
	29年度	30年度	1 年度	B:経費は適正な範囲である。				
経費水準	В	В	В	<判断理由> 施設を運営していくために必要な経費である。 事業の委託に当たっては、原則として入札により契約を締結しており、金額も 適正である。				
		評価結果		事業手法は適正か。				
	29年度	30年度	1 年度	B:事業手法は適正な内容である。				
事業手法	В	<判断理由> 民間業者に委託して業務を実施している。 介護老人保健施設と同様の業務は、一括発注により経費の削減に努めており、 事業手法は適正である。						
		評価結果		受益の公平性と負担の適正化は図られているか。				
	29年度	30年度	1 年度	B:受益・負担は適正な範囲である。				
受益・負担の公平性	В	В	В	<判断理由> 診療報酬や利用者の負担金により事業を実施しており、受益と負担は公平で適正である。				

4	令和元年度中	りに実施し	た見直し	l.内容

見直し内容	
見直しの効果	

	○ 1 現状で継続	● 2 拡大して継続	○ 3縮小して継続	○ 4他事業と統合	○ 5休止
	○ 6 その他見直し	○令和3年度で終了	〇 令和 2 年度で終了	〇令和元年度で終了	
事業の方向性	"	吏用するために必要なう 関として、セーフティネ			
今後の取組方針	施設と同様の業務にまた、公的医療機関	ついては、指定管理者と 関として、セーフティネ	ニ十分に協議してより交 マットの機能を強化を近	効果的・効率的な方法に 動象	を削減し、介護老人保健 により発注する。 けた仕組みづくりを進め

	事務事業名	2	3266	診療	寮事業										
I	担当組織		Ħ	市民医療	寮セン	ター		診療!	室			担当	á		診療担当
I	組織コード	R2	30	01	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R2	06	02	01	01	01	01	記入日	令和 2年 6月10日
ı	和 一 「	R1	30	01	00		R1	06	02	01	01	01	01	記入口	节和 2年 0月10日

		総合振興計画上の位置で	がけ		実施計画候補							
基本目標	02	誰もが健康でいきいきと生活できるまち			● 対象							
分野	01	医療										
施策	15	地域医療体制の整備	○ 対象外									
事業期間	昭和	46年度 ~ 令和4年度										
根拠法令 通 達 等		医療保険各法 介護保険法 関連計画 施政方針										
事業区分	0	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの										
対象	l	希望者、健(検)診受診希望者、予防接種受診希 治療が必要な患者	i望者、リハビリ	テーション希望者								
事業目的	2.	診療事業による患者の健康回復と疾病予防 入院患者への適切な医療と看護の提供 診療機能の充実と地域医療サービスの提供										
事業内容	・外来診療(内科・小児科・神経内科・呼吸器内科・消化器内科・整形外科・耳鼻咽喉科・小児神経外来・禁煙外来)、各種健(検)診、予防接種、リハビリテーションの実施。診療受付は、月~土曜日の午前8時30分~午前11時30分、月曜日の											
実施主体	■市	5による単独直営 □委託 (□3セク・財団	□企業	」市民·NPO) □協働·協力	()							

2. 実施結果

			令和元年度		令和2年度	令和	13年度	令	和4年度	令和5年度
			執行額(千円		予算額(千円)		[(千円)		i額(千円)	計画額(千円)
			入院・外来記		入院・外来診		・外来診		院・外来診	入院・外来診
	3	事業内容	療、健診、予		療、健診、予		療、健診、予		、健診、予	療、健診、予
			防接種、リハヒ	*	防接種、リハビ		種、リハビ		接種、リハビ	防接種、リハビ
			リテーション		リテーション	リテーシ	ョン	リテ	ーション	リテーション
事業		事業費	192,	805	246, 435		178, 602		248, 450	248, 450
美 の		国庫支出金		0	0		0		0	0
の予算	財源	県支出金		0	0		0		0	0
算	源	起 債		0	0		0		0	0
実績	内一訳	その他	191,	907	163, 710		163, 710		165, 725	165, 725
積		一般財源		898	82, 725		14, 892		82, 725	82, 725
		人件費	184, 896		191, 744		191, 744		191, 744	191, 744
	投入	常勤職員	27	人	28 人	28 人		28 人		28 人
	人員	非常勤職員	7. 9	人	9.2人		9.2人	9.2人		9.2人
	事	業費+人件費	377,	701	438, 179	370, 346		440, 194		440, 194
		 指標名		単位	説明・算定	· _ 	H30E	標	R 1目標	R 2 目標
		1日1示10		平四	武功 并及	116	H30実	績	R1実績	R 2 実績
lΒ	活動	年間の外来等受診	诊者数	人	外来、健(検)診			, 791	44, 84	
目標達成状	1				接種、訪問診療受	診者数		, 784	39, 29	
達	活動	年間の入院者数		人	入院患者数			, 134	4, 75	
成	2							, 922	4, 88	
状 況	1,4,4,1,1		又 益	千円				, 831 352, 61		
兀	1	5-88 0 3 Bhan at the	L				308		296, 80	
	成果 年間の入院診療収		人 益	千円				908	78, 15	
	2		. 181 1 1 1	<u> </u>			6/	, 007	87, 03	8 -
		■ R · 注動 • 成里 <i>0</i>) いずれかを達成!	l <i>†</i> -						

B:活動・成果のいずれかを達成した。

<判断理由>

目標達成 状況 の分析

外来診療については、近隣に整形外科や小児科の開院があり、患者数が減った。更に2月頃より新型コロナウイルス感染拡大の影響により外来診療、健(検)診、予防接種すべてが減少し受診者数及び収益において年間目標は達成出来ていない。入院診療については、往診・訪問リハビリ・訪問看護との連携が取れた事により患者数及び収益とも年間目標を達成した。令和2年度の目標については、経営改革プランの見直しを行い設定する。

3.評価結果

		評価結果		施策の目標達成に向けて貢献しているか。						
	29年度	30年度	1 年度	B:施策の目標達成に貢献している。						
施策への貢献度	В	В	В	<判断理由> 公削断理由> 公的な有床診療所としての機能を最大限に発揮し、「安心」「安全」「安定」な医療体制を整備し、他の医療機関では対応困難な医療の部分を補う事により地域医療に貢献している。						
		評価結果		事業費・人件費の水準は適正か。						
	29年度	30年度	1 年度	B:経費は適正な範囲である。						
経費水準	В	В	В	<判断理由> 医療サービスに支障をきたさないよう精査し、医薬品、医薬材料、人件費等経費削減に努めている。						
		評価結果		事業手法は適正か。						
	29年度	3 0 年度	1 年度	B:事業手法は適正な内容である。						
事業手法	В	В	В	<判断理由> 地域住民のかかりつけ医として医療の提供や介護サービスとの連携が出来ている事から、事業手法は適正であると考える。今後は、医療サービスの資質の向上を図るため、医療講座を行い地域貢献に努める。						
		評価結果		受益の公平性と負担の適正化は図られているか。						
	29年度	30年度	1 年度	B:受益・負担は適正な範囲である。						
受益・負担の公平性	В	В	В	<判断理由> 事業は、医療保険制度に基づき実施しており受益・負担は、適正であると考える。						

4. 令和元年度中に実施した見直し内容

見直し内容	①睡眠時無呼吸症候群の診断に簡易睡眠検査を導入し、治療として持続陽圧呼吸療法を積極的に導入した。 ②低線量CTによる肺がん検診を開始した。
見直しの効果	①患者のデータ管理を行い、より効果的な治療が行われた。心筋梗塞や脳卒中、糖尿病などのリスク抑制にも効果があるとされている。 ②少ない被ばく量で行う検診の有効性を検証する治験に参加。

	● 1 現状で継続	○2拡大して継続	○ 3縮小して継続	○ 4他事業と統合	○ 5休止						
	○ 6 その他見直し	○令和3年度で終了	○令和2年度で終了	〇令和元年度で終了							
事業の方向性	<判断理由> 市民が質の良い医療・介護を身近な場所で受けることが出来るようセンター機能の充実が求められている。また、災害医療において、戸田市地域防災計画に基づき、医療班としての機能がある。経営健全化を考慮しながら現在の事業を継続し、将来にわたり市民が安心して医療・介護を受けられる環境作りを進めていく。										
今後の取組方針	また、増加すること ・市民のセンターにす ・地域の医療機関や作 ・常勤医師1名の欠員	とが予想される認知症態 対する認知度を上げるだ 也の自治体との連携を図 が続いていることと、	所等と連携を図り、外来 最者に対して、認知症初 とめに広報活動を行う。 図りながら救急医療体制 新型コロナウイルス感 分後見直しを行っていく]期集中支援チームとし の強化に努める。 染症拡大の影響で外来	して支援を行う。						

	事務事業名	7	7666 医療センター窓口・受付・カルテ事業												
I	担当組織		Ħ	5民医	寮セン	ター		総務	課			担当	á	9/ / 小c	務・医事担当
ı	組織コード	R2	30	01	00	会計·款·項·目·大事業·中事業	R2	06	02	01	01	01	02	記入日	令和 2年 6月22日
ı	小口小队 一	R1	30	01	00	ZII W 5 1 77 X 77 X	R1	06	02	01	01	01	02	此人口	171H ZT 07ZZH

		総合振興計画上の位置づ	it		実施計画候補									
基本目標	02	誰もが健康でいきいきと生活できるまち			○ 対象									
分野	01	医療												
施策	15	地域医療体制の整備	● 対象外											
事業期間	昭和	昭和46年度 ~ 令和2年度												
根拠法令 通 達 等	国民	社会保険各法 国民健康保険法 高齢者の医療の確保に関する法律 施政方針												
事業区分	0	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの												
対象	診	察受診者、健(検)診、予防接種等を受ける者、	入院患者											
事業目的		金徴収を含む受付及びレセプト作成等の医事業務 業務の効率化や経営改善を図る。	をより正確迅速	Eに行い、利用者の利便性や快	適性を向上させるととも									
事業内容	医	医療情報システムを活用し、受付、会計、診療報酬請求、カルテ管理等の業務を効率的に行う。												
実施主体	□∄	īによる単独直営 ■委託 (□3セク・財団	■企業	□市民·NPO) □協働·協力	()									

<u>2. 実施</u>結果

			令和元年度		令和2年度		13年度		和4年度	令和5年度
			執行額(千円		予算額(千円)		〔(千円)		額(千円)	計画額(千円)
			市民医療セン		市民医療セン		市民医療セン		民医療セン	市民医療セン
	事業内容		ター窓口・受		ター窓口・受	l	窓口・受		一窓口・受	ター窓口・受
			付・カルテ事		付・カルテ事	付・カルテ事		付・カルテ事		付・カルテ事
			業		業	業		業		業
事業		事 業 費	58,	080	54, 862		52, 336		54, 862	54, 862
美 の		国庫支出金		0	0		0		0	0
の予算	財源	県支出金		0	0		0		0	0
算.	源「	起債		0	0		0		0	0
実績	内一訳	その他	43,	695	54, 862		54, 862		54, 862	54, 862
績		一般財源	14,	385	0	-2, 526		0		0
		人 件 費	13, 35	3. 6	13, 353. 6		13, 353. 6		13, 353. 6	13, 353. 6
	投入	. 常勤職員	1.95人		1.95人		1.95人		1.95人	1.95人
	人員	非常勤職員	0. 32	人	0.74人	0.74		0.74人		0. 74 人
	事	業費+人件費	71,	434	68, 216		65, 690	68, 216		68, 216
		 指標名		単位	説明・算定	· 	H30E	標	R 1目標	R2目標
		扫标句		半位	. 武明 异化	<u>:</u> I(八 H30実		R 1 実績	R 2 実績
l 🗚	活動	外来レセプト提出	☆技数	件	外来レセプトの扱	出枚数	25	, 000	25, 000	20, 000
目標達成状	1			IT			24	, 656	22, 783	3 –
達	活動	入院レセプト提出	社枚数	件	入院レセプトの扱	出枚数		300	300	300
成	2			- 11				266	314	1 –
状	成果	レセプト返戻率		%	返戻を1%以内に	抑制す		1	1	1
況	1			/0	る。				0. 45	5 –
	成果									
	2									_
		B:活動・成果σ)いずれかを達成し	t= .						

B:活動・成果のいずれかを達成した。

目標達成 状況 の分析 <判断理由>

外来レセプト提出枚数は目標を下回ったが、システムを活用することにより、レセプト返戻率は目標を達成することができた。

3.評価結果

		評価結果		施策の目標達成に向けて貢献しているか。						
	0.0/5/5		1 / =							
	29年度	30年度	1年度	A:施策の目標達成に大いに貢献している。						
施策への貢献度	А	Α	А	<判断理由> 業務委託により医療事務の知識を有する人材を配置するとともに、医療情報システムを活用し、適切に業務が行われている。						
		評価結果		事業費・人件費の水準は適正か。						
	29年度	30年度	1 年度	B:経費は適正な範囲である。						
経費水準	в в в			<判断理由> 医療情報システムについては、リースにより年度ごとに支出の平準化を図っている。						
		評価結果		事業手法は適正か。						
	29年度	30年度	1 年度	B:事業手法は適正な内容である。						
事業手法	В	В	В	<判断理由> 医療事務の委託により専門的知識を有する人材を配置するとともに、医療情報システムを活用し、業務の効率化を図っており、事業手法は適正である。						
		評価結果		受益の公平性と負担の適正化は図られているか。						
	29年度	30年度	1 年度	B:受益・負担は適正な範囲である。						
受益・負担の公平性	В	В	В	<判断理由> 医療事務の委託及び医療情報システムに係る費用は、診療報酬や利用者負が財源となっており、受益と負担は公平で適正である。						

4. 令和元年度中に実施した見直し内容

	医療情報システムの更新を実施した。
見直し内容	
	旧システムの課題等を解決し、業務をより効率的に行えるようになった。
見直しの効果	

	│ ○ 1現状で継続	● 2 拡大して継続	○3縮小して継続	○ 4 他事業と統合	〇 5 休止
	○6その他見直し	○令和3年度で終了	○ 令和 2 年度で終了	〇令和元年度で終了	
事業の方向性			引的な知識を有する人材 \患者にも必要な医療を	· - ::: - : : : : : : : : : : : : : : : :	
	ていく。		置、医療情報システムの を提供できるよう、オン		ス向上に引き続き努める 向けた検討を進める。
今後の取組方針					

事務事業名	4	4246	長邦	胡債元:	金									
担当組織	市民医療センター						総務課				担当	i	1/4	終・医事担当
組織コード	R2	30	01	00	会計・ 款・坦・日・大事業・甲事業	R2	06	03	01	01	01	01	記入日	令和 2年 6月22日
が正が以コート	R1	30	01	00		R1	06	03	01	01	01	01	記入口	744 24 07220

	総合振興計画上の位置づけ											
基本目標	02	誰もが健康でいきいきと	生活でき	うまち				〇 対象				
分野	01	医療										
施策	15	地域医療体制の整備		● 対象外								
事業期間	平成	27年度 ~ 令和15年	度									
根拠法令 通 達 等					関連計画 施政方針							
事業区分	0	法定受託事務	任意のもの									
対象												
事業目的	※予	算編成用シート(指標等	未設定)									
事業内容	※予	算編成用シート(指標等	未設定)									
実施主体	■ਜ	たによる単独直営 [□委託	(□ 3セク・財団	□企業	□市民·NP0)	□協働·協力	()			

	74,,,,		令和元年度		令和2年度	令和	13年度	令和4年度	令和5年度
			執行額(千円)	-	予算額(千円)		[(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
			市民医療セン		市民医療セン		医療セン	市民医療セン	市民医療セン
		事 業 内 容	ター建設事業		ター建設事業		建設事業	ター建設事業	ター建設事業
			に係る長期債		に係る長期債		る長期債	に係る長期債	に係る長期債
١.			元金	_	元金	元金		元金	元金
事業		事 業 費	99, 862	2	99, 862		99, 862	99, 854	88, 236
まの		国庫支出金	0)	0		0	0	0
事業の予算	財	県支出金	0)	0		0	0	0
昇	財源内訳	起 債	0)	0		0	0	0
実績	訳し	その他	0)	0		0	0	0
積		一般財源	99, 862	2	99, 862		99, 862	99, 854	88, 236
		人 件 費	0)	0		0	0	0
	投入	常勤職員	0人		0人		0人	0人	0人
	人員	非常勤職員	0人		0人	0人		0人	0人
	事	事業費+人件費	99, 862	2	99, 862		99, 862	99, 854	88, 236
		指標名	指標名		説明・算定	 :式	H30E		
	・ナエ						H30実	程績 R1実績	R2実績
且	活動 ①								
達	活重								
戍	2								_
目標達成状況	成集 ①								
"	成果								
	2								_
		一:未設定							
目標	票達瓦	大 <判断理由>							
ļ ļ	犬況								
	分析								
"	ולוי ני								

3.評価結果				
		評価結果		施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	29年度	30年度	1 年度	一:未設定
施策への貢献度	-	_	_	<判断理由>
	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	29年度	30年度	1 年度	一:未設定
経費水準	I	ı	I	<判断理由>
	評価結果			事業手法は適正か。
	29年度	30年度	1 年度	一:未設定
事業手法	_	-	_	<判断理由>
		評価結果		受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	1 年度	一:未設定
受益・負担の公平性	-	-	_	<判断理由>
4. 令和元年度中に	実施しア	た見直し	内容	
見直し内容				

平. 174170千及千1	11和九千茂十二大池 した光色 しい名											
見直し内容												
見直しの効果												

5.	今後	M	七 4	L
υ.	7 1/2	U)	ノノ亚	•

	〇 1 現状で継続	○2拡大して継続	○3縮小して継続	○ 4他事業と統合	○ 5休止
	◯ 6その他見直し	○令和3年度で終了	○令和2年度で終了	〇令和元年度で終了	
	<判断理由>				
 事業の方向性					
 今後の取組方針					
/ 1文 ジンコス小皿ノゴエ					

事務事業名	40	0366	長邦	胡債利	7									
担当組織	市民医療センター				ター		総務	課			担当	i	No.	務・医事担当
組織コード	R2	30	01	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R2	06	03	01	02	01	01	記入日	令和 2年 6月22日
和戦コート	R1	30	01	00	云前 "		06	03	01	02	01	01	心人口	1711 24 07220

	総合振興計画上の位置づけ											
基本目標	02	誰もが健康でいきいき	と生活でき	きるまち				〇 対象				
分野	01	医療										
施策	15	地域医療体制の整備		● 対象外								
事業期間	平成	25年度 ~ 令和15										
根拠法令 通 達 等					関連計画 施政方針							
事業区分	0	法定受託事務	任意のもの									
対象												
事業目的	※予	算編成用シート(指標	等未設定)									
事業内容	※予	算編成用シート(指標	等未設定)									
実施主体	■ 市	iによる単独直営	□委託	(□3セク・財団	□企業	□市民·NP0)	□ 協働・協力	()				

			令和元年度		令和2年度		3年度	令和4年度	令和5年度
			執行額(千円)	-	予算額(千円)		(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
			市民医療セン		市民医療セン		医療セン	市民医療セン	市民医療セン
	4	事業内容	ター建設事業		ター建設事業		建設事業	ター建設事業	ター建設事業
			に係る長期債		に係る長期債	に係る長期債		に係る長期債	に係る長期債
			利子		利子	利子		利子	利子
事		事業費	10, 63	5	9, 826		9, 052	8, 316	7, 485
未		国庫支出金		0	0		0	(0
事業の予算	財	県支出金	(0	0		0	(0
-	財	起 債	(0	0		0	(0
実績	訳 _	その他		0	0		0	(0
禎 		一般財源	10, 63	5	9, 826		9, 052	8, 316	7, 485
		人 件 費	(0	0		0	(0
	投入	常勤職員	0人	<u> </u>	0人		0人	0人	0人
	人員	非常勤職員	0人		0人	0人		0人	0人
	事	業費+人件費	10, 63	5	9, 826		9, 052	8, 316	
		指標名	単位		説明・算定	3式	H30E		
	江新	T					H30実		積 R2実績
目標達成状況	活動 ①								
達	活動								
戍	2								
	成果								
,,,,	成果								
	2								_
		一:未設定							
目村	票達成	<判断理由>							
l 4	犬況								
	分析								
	ולף נכ								

				10 只				
3.評価結果								
		評価結果		施策の目標達成に向けて貢献しているか。				
	29年度	3 0 年度	1 年度	一:未設定				
施策への貢献度				<判断理由>				
	_	_	_					
		<u> </u> 評価結果						
		3 0 年度	1 年度	一:未設定				
経費水準				<判断理由>				
社員小牛	_	_	_					
				東番子とは 英工人				
	29年度30年度 1年度			事業手法は適正か。 - : 未設定				
	29年度	30年度	平茂	一:木設定				
事業手法				○刊断理田 /				
	_	_	_					
		評価結果		受益の公平性と負担の適正化は図られているか。				
	29年度	30年度	1 年度	一:未設定				
受益・負担の公平性				<判断理由>				
	_	_	_					
4. 令和元年度中に	ニ <i>実施しア</i>	た見直し	内容					
見直し内容								
見直しの効果								

4. 卫和儿牛及中心	- 关旭した兄旦し内谷
見直し内容	
見直しの効果	
5. 今後の方針	

	○ 1現状で継続	○2拡大して継続	○3縮小して継続	○ 4他事業と統合	〇 5休止
	○ 6 その他見直し	○令和3年度で終了	○ 令和 2 年度で終了	〇令和元年度で終了	
	<判断理由>				
事業の方向性 事業の方向性					
 今後の取組方針					
/ 区でライバーエノゴエト					

	事務事業名	21350 予備費													
I	担当組織	市民医療センター					総務課				担当	i	4/2 1/vc	終務・医事担当	
ſ	組織コード	R2	30	01	00	会計·款·項·目·大事業·中事業	R2	06	04	01	01	01	01	記入日	令和 2年 6月22日
	和山市以 — 下	R1	30	01	00		R1	06	04	01	01	01	01		

	実施計画候補									
基本目標	基本目標 02 誰もが健康でいきいきと生活できるまち									
分野	野 01 医療									
施策	施策 15 地域医療体制の整備									
事業期間	平成	18年度 ~ 令和2年度	E							
根拠法令 通 達 等					関連計画 施政方針					
事業区分	0	法定受託事務	〇自	治事務のうち義	務的なもの	•	自治事務のうち	任意のもの		
対象										
事業目的	※予	算編成用シート(指標等	养 設定)							
事業内容	※予	算編成用シート(指標等	等未設定)							
実施主体	■ 市	iによる単独直営	□委託	(□3セク・財団	□企業	□市民·NP0)	□ 協働・協力	()		

			令和元年度	令和2年度		3年度	令和4年度	令和5年度
			執行額(千円)	予算額(千円)		(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
		事業内容	予備費	予備費	予備	費	予備費	予備費
事		事 業 費	0	500		500	500	500
(美の		国庫支出金	0	0		0	0	0
事業の予算	財	県支出金	0	0		0	0	0
	財	起 債	0	0		0	0	0
実績	訳	その他	0	0		0	0	0
傾		一般財源	0	500		500	500	500
		人 件 費	0	0		0	0	0
	投入		0人	0人		0人	0人	0人
	人員		0人	0人		0人	0人	0人
	事	¥費+人件費	0	500		500	500	500
		指標名	単	位 説明・算足	定式	H30目 H30実		R2目標 R2実績
且	活動 (1							_
目標達成状況	活動	b						_
八		1						
況	1							_
	成果	!					+	_
		一:未設定	'	•			,	
目相	票達瓦	大 <判断理由>						
状況								
の	分析							

3. 評価結果								
		評価結果		施策の目標達成に向けて貢献しているか。				
	29年度	30年度	1 年度	一:未設定				
施策への貢献度	_	_	_	<判断理由>				
		評価結果		事業費・人件費の水準は適正か。				
	29年度	3 0 年度	1 年度	一:未設定				
経費水準 経費水準				<判断理由>				
	_	_	_					
	評価結果			事業手法は適正か。				
	29年度	30年度	1 年度	一:未設定				
事業手法	_	_	_	<判断理由>				
		評価結果		受益の公平性と負担の適正化は図られているか。				
	29年度	3 0 年度	1 年度	一:未設定				
受益・負担の公平性	_	_	_	<判断理由>				
4. 令和元年度中に実施した見直し内容								
見直し内容								

見直し内容	
見直しの効果	

5. 今後の方針	†
----------	---

	〇 1 現状で継続	○2拡大して継続	○3縮小して継続	○ 4他事業と統合	○ 5休止
	◯ 6 その他見直し	○令和3年度で終了	〇 令和 2 年度で終了	〇令和元年度で終了	
	<判断理由>				
 事業の方向性					
今後の取組方針					